

① 2018 年度の重点取組目標・計画の実施状況

ア. 地球温暖化対策

1. 各店舗において、抑制のために冷房温度(26～28℃設定)や暖房温度(19～20℃設定)を推進し取り組んだ。
2. 神戸市西区の店舗(西神戸店、神戸玉津店)でのレジ袋有料化に伴う収益金の一部で、神戸 CO2 バンクから国内クレジットの購入 50t。
3. 店舗でのエコ学習会(小学生の社会見学、中学生の職場体験)の際に、イズミヤの環境取り組みを伝える。

③ 地球温暖化対策に係る報告

ア. 2018年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量(MJ)	排出係数	排出量	温暖化係数	合計(CO <sub>2</sub> 換算)
					kg-CO <sub>2</sub> /MJ	kg-CO <sub>2</sub>	CO <sub>2</sub>	
燃料の使用	原料炭		kg	28.9	0.0867			
	一般炭		kg	26.6	0.0906			
	A重油		ℓ	39.1	0.0693			
	B重油		ℓ	40.4	0.0705			
	C重油		ℓ	41.7	0.0716			
	LPG		kg	50.2	0.0598			
	都市ガス	706835	Nm <sup>3</sup>	45.0	0.0513	1618652		
その他(廃棄物等)		kg	42.3	0.0762				
電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者	9,958,497	kWh		0.522 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	5198335		
熱供給事業者から供給された熱の利用			MJ					
合計						6816987		

イ. 当該年度の計画達成状況

温室効果ガス	削減目標		排出量		削減率(%)	
	今年度(2018年度)	2020年度	基準年度(2013年度)	今年度(2018年度)	今年度(2018年度)	2020年度
二酸化炭素	1702300	1872530	8,511,502	6,816,988	20%	22%
メタン						
一酸化二窒素						
HFC						
PFC						
六フッ化硫黄						
合計	1702300	1872530	8511502	6816988	20%	22%

ウ. 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	事業所における節電	節電	小まめな消灯	徹底	実施100%
2	燃料使用量の削減	燃料使用量の削減	冷暖房時の温度の適正化	冷房 26~28℃ 暖房 19~20℃	ほぼ実施
3	資源の分別回収	廃棄物削減	店頭でのリサイクルBOXの設置	各店に設置	実施100%

## ① 環境保全に関する基本方針(基本理念)

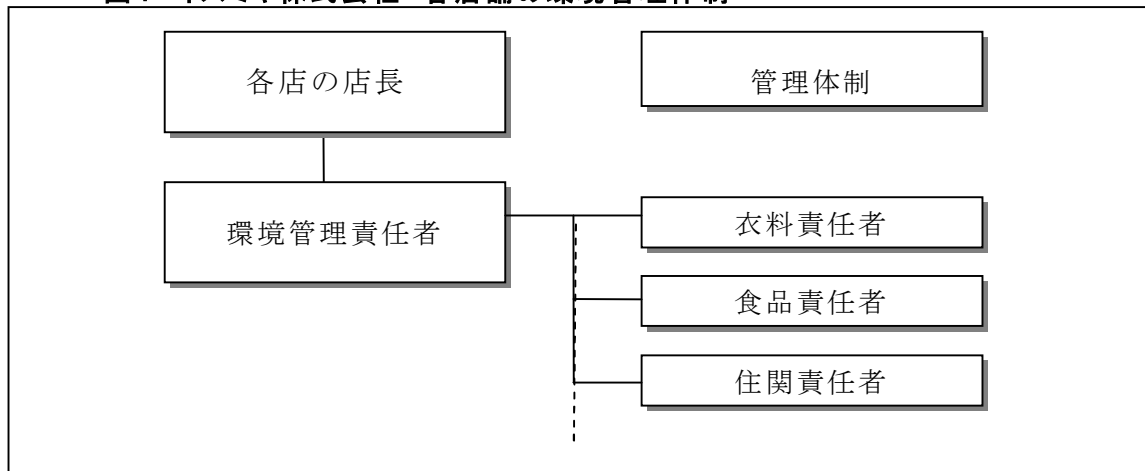
### ① 環境方針

1. 日常の事業活動において、「お客様第一」の考えを基本とし、地域の良き企業市民として行動し、環境保全に努めます。
2. 環境マネジメントシステムの運用を通じて、継続的改善を汚染の予防の努めます。
3. 環境関連の法規制及び受け入れを決めた要求事項を、順守するとともに自主基準を設定し、事業活動を管理します。
4. 次に挙げる4項目を主軸として、環境目的と目標を設定し、定期的または必要に応じて、見直します。
  - (ア) 環境と人にやさしい商品の仕入れと開発（グリーン購入）を推進します。
  - (イ) エネルギー使用量の削減など、地球温暖化対策に取り組めます。
  - (ウ) 廃棄物の減量と、資源の有効活用に取り組めます。
  - (エ) 啓発活動やコミュニケーション活動を継続的に行うとともに、地域社会、自治体、お取引先とのパートナーシップ活動を積極的に実施します。
5. この方針は、全従業員に周知徹底し、全員参画せ取組めます。
6. この方針は、社外全般に公表します。

## ② 環境保全に関する組織の現況

当社の各店舗における環境管理体制は図1のとおりである。

図1 イズミヤ株式会社 各店舗の環境管理体制



- ①環境管理責任者は電気・ガスの使用量の把握と増減の原因究明
- ②店舗の従業員に対しての啓発活動の実施とフォローを実施する

## ③重点取組目標・計画

### 【2019年度の重点目標・計画】

1. 省エネの取組： 電力使用量削減取組
2. 資源の有効利用の取組：紙ごみなどリサイクルできるものはリサイクルにまわし、焼却ゴミを減らす
3. 環境コミュニケーション活動の実施：各店舗において、小学生の社会見学の受け入れ、エコ学習会の推進、職場体験の受け入れ、イベント等の場所貸し、行政の活動のための場所貸しなど

⑤ 地球温暖化対策に係る計画

ア. 前年度(2018年度)の電気・燃料等の使用量及び今年度(2019年度)使用予定量

活動の区分	燃料・焼却物等の種類	単位発熱量(MJ)	前年度(2018)使用量等	今年度(2019)使用予定量	単位	排出係数 kg-CO <sub>2</sub> /MJ	排出量(kg-CO <sub>2</sub> )	
							前年度(2018) (実績)	今年度(2019) (予定)
							燃料の使用	原料炭
	一般炭	26.6			kg	0.0906		
	A重油	39.1			ℓ	0.0693		
	B重油	40.4			ℓ	0.0705		
	C重油	41.7			ℓ	0.0716		
	LPG	50.2			kg	0.0598		
	都市ガス	45.0	706835	592866	Nm <sup>3</sup>	0.0513	1618652	1357663
	その他(廃棄物等)	42.3			kg	0.0762		
	電気事業者から供給された電気の使用		9958497	6724086	kWh	0.522 (kg-CO <sub>2</sub> /kWh)	5198335	3509972
	熱供給事業者から供給された熱の利用				MJ			
	合計							

イ. 基準年度及び前年度の二酸化炭素排出量、今年度及び2000年度の二酸化炭素の排出削減目標(その他温室効果ガスが発生している場合はその排出量、排出削減目標も含む。)

温室効果ガス	排出量		削減目標		削減率(%)	
	基準年度(2013年度)	前年度(2018年度)	今年度(2019年度)	2020年度	今年度(2019年度)	2020年度
二酸化炭素	8511502	6816987	1787415	1872530	21%	22%
メタン						
一酸化二窒素						
HFC						
PFC						
六フッ化硫黄						
合計	8511502	6816987	1787415	1872530	21	22

ウ. 目標達成のために講ずる措置・対策

措置の区分	具体的対策	削減目標
節電	小まめな消灯	徹底
燃料使用量の削減	冷暖房時の温度の適正化	冷房26℃～28℃、暖房19℃～20℃

⑥ 公害防止対策及び地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る計画

公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る目標、計画

(目標達成年次2020年度中)

	分野	項目	目標
1	啓発コミュニケーション	小・中学生へのエコ学習会の実施	各店舗1回以上
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			